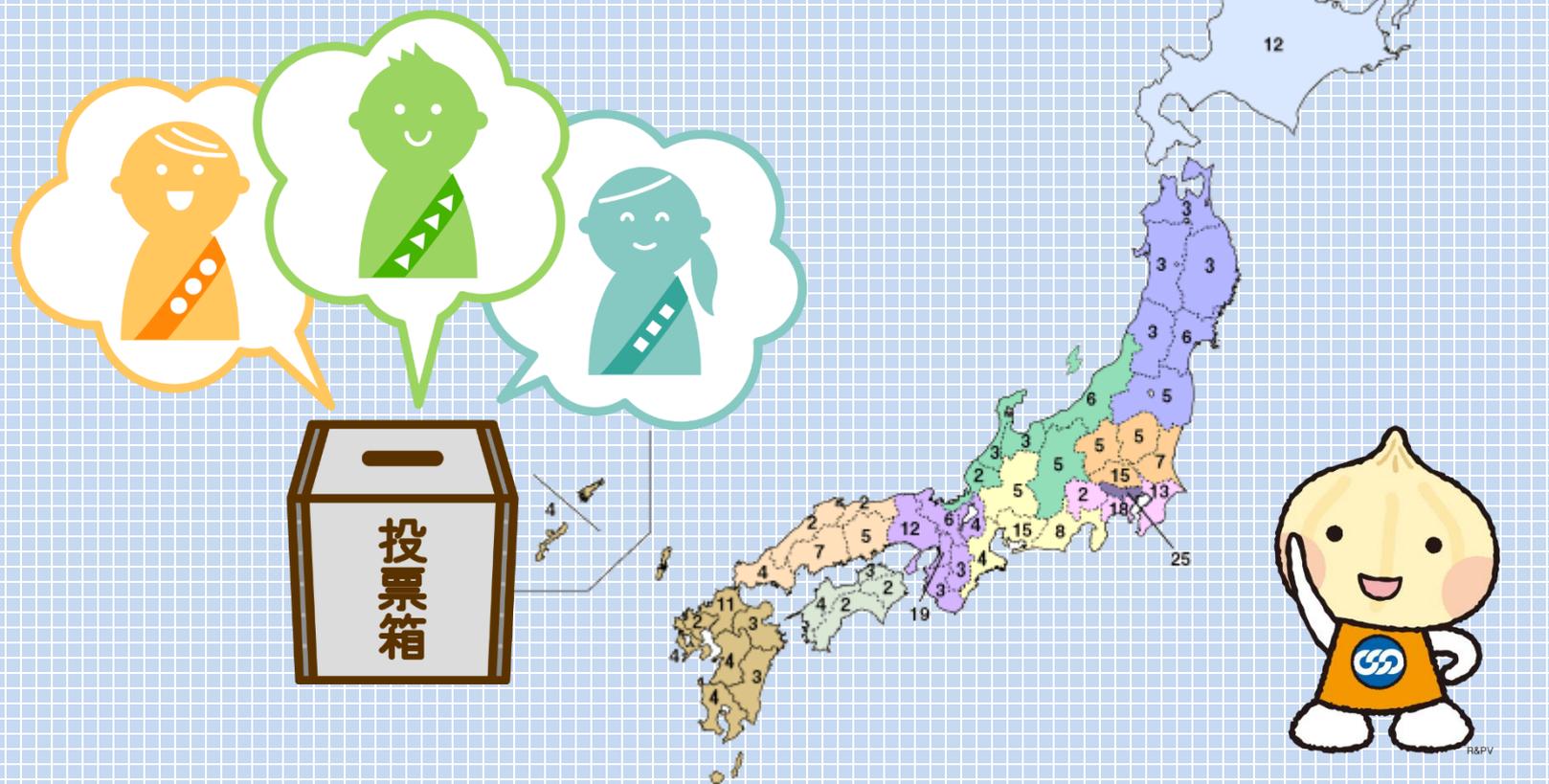


第49回衆議院選挙の基本方針

2020年 9月17日 第12回中央執行委員会 確認
2020年10月15日 第13回中央執行委員会 補強・修正



第49回衆議院選挙の意義・目的と課題

連合は「働く者・生活者のための政策実現」を目的に、この間、**連携して活動できる政党や政治家への支援・協力**を行ってきました。

連合がめざす「働くことを軸とする安心社会」の実現には、**働く者・生活者の立場に立つ政治勢力の拡大が急務**です。

一方、第25回参議院選挙の反省を踏まえれば、**連合が組織一丸**となって闘える環境整備が肝要です。

争点

コロナ禍という国家的危機を克服し、
安心して持続可能な社会を展望することができる
わが国の将来ビジョンをいかに描くか！



次期衆議院選挙に向けた支援の考え方

新立憲民主党を連合総体として支援

- ★新立憲民主党の結党は大きな塊に向けた一つの営みが結実したものであり、多くの有権者の選択肢につながり得る重要な到達点です。
- ★この新党結成の意義を踏まえ、新立憲民主党と「共有する理念」および政策協定を締結するとともに、緊密な支援体制の構築をはかり連合総体として支援します。



新国民民主党は同党候補者を支援

- ★新国民民主党が掲げる綱領や連合の政策実現に向けた同党所属議員とのこれまでの関係を踏まえ、同党との政策協定締結をもって候補者を支援します。





連合本部の取り組み

働く者・生活者の立場に立つ政治勢力の結集に向けた努力

- ① 「共有する理念」の取りまとめ、および新立憲民主党との締結
- ② 「共有する理念」の深掘りと命とくらしを守る政策実現に向けた連携

立憲民主党への働きかけ

- ① 幅広い国民の共感を得る政権構想の提示
- ② 地方組織の早急な体制整備
- ③ 立憲民主党が主体となった候補者調整の促進



政策協定の締結

- ① 立憲民主党、国民民主党からの支援要請を踏まえ、「共有する理念」を織り込んだ協定締結の準備を進める
- ② 政策協定は、政党のみならず候補者個々人との認識合わせも求める

地方連合会の取り組み



<推薦申請前段での取り組み強化>

- ①立憲民主党が主体となった候補者調整の促進、および候補者との信頼関係の醸成
- ②推薦候補者としてふさわしい人物であることの確認
- ③候補者との政策合意

<推薦予定者の機関決定>

- ④地方連合会における丁寧な合意形成および機関決定
- ⑤連合本部への推薦申請および候補者との日常の意思疎通や連携
- ⑥推薦候補者としてふさわしくないとの判断がなされた場合には、推薦を取り消す

構成組織の取り組み



- ①連合本部が推薦決定した候補者を、産別本部・地方組織も推薦決定
- ②地方連合会の取り組みに対する産別地方組織・加盟組合の積極的な参加と理解・協力を強力に支援

小選挙区選挙および比例代表選挙における闘い方

小選挙区選挙

- ⇒これまで以上に、**連合推薦候補者が小選挙区で勝ち上がるための徹底した取り組みを展開**
- ⇒連合本部・構成組織・地方連合会がそれぞれの取り組みを進め、**連合が組織一丸となって闘える環境を構築**

衆議院議員の定数465人のうち、289人が小選挙区選出議員、176人が比例代表選出議員です。

小選挙区での**連合組織内候補の必勝**はもとより、**推薦候補の全員当選**に組織一丸で取り組むことが重要です。

比例代表選挙

- ⇒**新党「立憲民主党」の結党**という一つの重要な到達点を**最大限生かし切る闘い方が必要**
- ⇒比例代表選挙における投票行動については、**原則、立憲民主党を支援**



★小選挙区において、立憲民主党による多数の候補者擁立が見込まれる中、比例代表選挙での議席確保を最大化するための対応が必要です。

★加えて、連合推薦候補を一人でも多く当選させるためには、小選挙区や当該比例ブロックの状況に応じた対応も必要であることを考慮し、「原則、立憲民主党を支援」としています。

候補者推薦の基本的考え方

- ◆地方連合会は、「地方連合会の取り組み」を踏まえ候補者を機関決定し、連合本部に申請。
- ◆連合本部は、立憲民主党および国民民主党との政策協定締結後、地方連合会からの申請を踏まえ、以下の順で推薦決定。
 - ①連合と政策協定を締結した政党の公認候補者
 - ②上記の党が推薦する他の政党の候補者または無所属の候補者
 - ③その他の政党または無所属で連合の推薦にふさわしい候補者



その他

新型コロナウイルス感染症の状況も踏まえつつ、政策・制度要求とあわせて、WEB会議の活用や政治意識高揚に向けた教育用器材の提供、SNSなどを活用した投票促進の呼びかけなど、運動面での工夫も行いながら着実に取り組みを進める。

